



ありがとうございました

- 北中 登一さん 本日はお招きいただき有難うございます。
 山東 勝彦さん 家内の誕生日に花をお届け頂きありがとうございます。
 村田 昌之さん 北中ガバナー、加藤先生、本日はありがとうございます。
 田原 久一さん 初例会を欠席し、紹介者あいさつも出来ず、おわびします。
 又、本日ロータリー理解推進月間にてガバナー様みずからおいでいただきありがとうございます。
 松田 洪毅さん 北中ガバナー様、加藤先生、遠い所をおいで頂き感謝申し上げます。
 島 公造さん 北中ガバナーご来訪いただきありがとうございます。
 また卓話の加藤様遠いところよりおいでいただきましてありがとうございます。
 山本 進三さん 加藤先生、北中ガバナー本日はようこそおこしいただきました。
 卓話よろしくお祈いします。
 乾 敦雄さん 北中ガバナー、加藤先生、本日はありがとうございます。
 阪神タイガース応援団一同

[皆出席表彰]

田原 久一さん 1年皆出席表彰

本日の累計 33,000円(計8名 10件)(お誕生日お祝い 311,240円 皆出席表彰 40,000円 その他 1,377,660円 累計額 1,728,900円)

クラブ名	日 時	内 容
和歌山城南R.C.	1月24日(木)	新会員自己紹介
和歌山南R.C.	1月25日(金)	卓話 和歌山市長 大橋 建一さん
和歌山中R.C.	1月25日(金)	月間フォーラム「暦・元旦」
和歌山北R.C.	1月28日(月)	クラブフォーラム「R理解推進月間」
和歌山アゼリアR.C.	1月28日(月)	卓話「ボージョレーヌーボーってほんまに美味しいんか?」焼肉参番館 北芝 昌明さん
和歌山R.C.	1月29日(火)	卓話「ラジオの魅力をさらに! もっと!」(株)和歌山放送代表取締役社長 中島 章雄さん
和歌山西R.C.	1月30日(水)	例会変更
和歌山東南R.C.	1月30日(水)	卓話「災害時の自衛隊の行動」陸上自衛隊信太山駐屯地司令等陸佐 古庄 信二さん (一般公開例会)

本日の例会 1月24日(木) 前回の例会 1月17日(木)

- 卓話「新春放談」 当クラブ名誉会員 駒井 則彦さん
- お誕生日お祝い
 野井 晋さん 1月 5日 糟谷 元春さん 1月 8日
 玉置 博康さん 1月17日 中江 遵義さん 1月18日
 中野 幸生さん 1月27日
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
 pieces(桜井和寿)
 祈り～涙の軌道(桜井和寿)
- 卓話「ならぬことはならぬものです!」 元大阪府立富田林高等学校校長 加藤 正彦さん
- ロータリーソング 山東 勝彦 ソング委員長
 「四つのテスト」
- ビジター報告 檜畑 友洋 親睦委員長
 和歌山R.C. 中谷 弘さん 檜畑 直尚さん

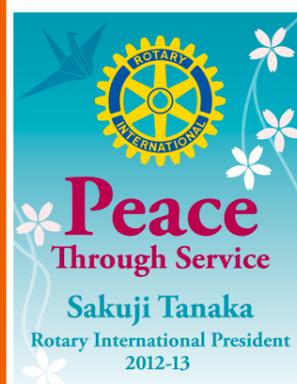
次回の例会 1月31日(木) P.M.6:30~ 於ダイワロイネットホテル和歌山4F

- ご長寿お祝い例会

メイキャップ情報 (敬称略)

1月16日(水) 和歌山東南R.C. 黒田 純一

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 会報・広報委員会 谷口 文利 笹島 良雄 野井 晋



「確信と絆で作ろう、希望の未来へ!! 今日より一歩」

「奉仕を通じて平和を」

国際ロータリー 第2640地区 和歌山東ロータリークラブ
 URL http://www.werc.jp E-mail info@werc.jp

2013年1月24日(木)
 週報 / VOL.54 No.27(通巻2573)

会長報告

島 公造 会長



みなさんこんにちは。和歌山ロータリークラブの中谷さん、檜畑さんようこそ我がクラブにメイキャップ有り難うございます。正月気分もぬけたと思った瞬間三連休となんかリズムがつきぬくい、どうも今の日本はおかしい休みばかりでアホを作っているように思います。学校もゆとり教育のもと土曜日休みにしていたのを元通りに戻すのが決まった、これは良いことです。仕事もそうしていただきたいと思えます。休みが多いと肩こりがきつくなつてかないません、そう思っているのは私だけでしょうか?。なんでもかんでも先進国家・欧米ではと言うマスコミ、そんな単語を無くし日本は日本でやってもらいたいです。そんな中先週、愛知県、春日井市の新規得意先へ行き炭化ケイ素の研磨依頼を受ける、このニュービジネスたぶん成功するでしょう。今年は仕事に又社会奉仕にと張り切りがいがありそうだと燃えている私でございます。

幹事報告

山本 進三 幹事



下記のお知らせ・案内が来ましたので回覧します。

国際ロータリー2640地区より

- 地区大会記録DVDが届きました。
- 2013年規程審議会の立法案が届きました。

イーストクラブゴルフ同好会より

- 今後の活動方針について、白紙にする旨の通知



加藤様、北中ガバナー、島会長、山本幹事

皆出席表彰



田原 久一さん

おめでとうございます!

出席報告

会員数 45名(内出席規定適用免除会員16名) 山東 勝彦 出席委員長

1月17日(本 日)	28名	75.7%	1月3日(メイキャップ後)	休 会
------------	-----	-------	---------------	-----

皆さん、出席してください。

クラブフォーラム ロータリー情報・規定委員会 ----- 田原 久一 委員長



ロータリー理解推進月間にちなみ2640地区に講師派遣をお願いした所、思いがけず北中ガバナー自らが講師を選び、そして帯同して頂ける事になり、恐縮でもあり感謝致して居ります。講師プロフィール紹介は北中ガバナーをお願いします。

講師紹介 ----- 国際ロータリー第2640地区 北中 登一 ガバナー



本日は貴クラブより御連絡を頂き有難う御座いました。卓話者の加藤先生には各高等学校校長の時から大変お世話になり、又尊敬も致して居ります。ロータリークラブとしても留学生の件で何かと御協力を賜りました。先生は多くの著書もあります。日本史に詳しくそこで近代日本のあるべき姿にも素晴らしいお話があります。本日は新島八重さんの生き方を基にお話を伺います。よろしくお願い致します。

卓話 「ならぬことはならぬものです！」 -----

----- 大阪女学院大学・短期大学 特任教授 (元大阪府立富田林高等学校長) 加藤 正彦さん



「人間の質が落ちている」…これはもう数年前の産経新聞朝刊の第一面の一番上に毎日掲載される『朝の詩』で目にとまった言葉である。投稿したのは女性だったが、昨今あまりに多い、人としてあるまじき行為による色々な事件に憤慨している妻に、夫が冷静に発したこの言葉でその詩はしめくられていた。

私は当時この詩を目にした時、はっと胸をつかれる思いで、たまたま依頼されていた短い教育論の文をこの言葉をキーワードに使って寄稿したことがある。時々短文を頼まれて何かを書いても、時の流れにより、自分が書いたものでも記憶から薄れていくが、この言葉だけはそれ以後、今日に至るまで念頭から消えることがなく、逆にますます意識の上ののぼることが次から次へとあまりに多いことに啞然とするばかりである。

2013年が明けたとたんに飛び込んできた体罰による自殺に追い込まれた生徒の痛ましいニュースは、その後日を追うにつれて大きな波紋を呼んでいる。昨年まではいじめによる自殺が続き、大きな問題となった。しかしこれも解決が難しく、体罰のニュースが新聞の紙面を連日大きく占めている中でも、相変わらず次々とあちこちで起こっているいじめの記事のやはり載っている。もちろん体罰にしてもいじめにしてもあってはならぬことである。あってはならぬことがなぜこうもつぎつぎと起こり続けているのか…そのためにあたらしい若い命が散らされていくというのに有効な対応策がとれないままの社会の脆弱さを凝視して糺していくことはなによりも緊急課題のはずである。

「ならぬことはならぬものです！」…今年のNHK大河ドラマは同志社大学の創設者・新島襄の妻八重が主人公だが、その八重は会津出身であり、会津藩校「日新校」の「什のおきて」は有名である。武士の子どもは「……してはなりませぬ」と唱えさせられながら人としてのあるべき教養を身につけていった。例えば「年長者の言うことにそむいてはなりませぬ」「嘘をいうことはなりませぬ」「卑怯なふるまいをしてはなりませぬ」「弱いものをいじめてはなりませぬ」などと、内容はごく当たり前のことだから、なぜ?と疑問をもつこともなくそれこそ「ならぬことはならぬもの」と当然のことであった(もっとも「戸外で婦人と言葉を交わしてはなりませぬ。」とこの時代だからこそのものもあったが…)。この「してはならぬこと」を“三つ子の魂百まで”と幼児教育の場でしっかりと心に沁み込ませるように教えていくことをいつから日本人は忘れてしまったのか。

戦後の民主主義教育の理念そのものは良かったかもしれないが、その運用面では今の教育のいろいろな歪みを生む要因があったと思われる節が多い。子どもの個性、自主性を重んじるあまりに野放図で本能のままに動く動物のような性格のまま成長してしまう人間を作っていたように思われる。こんなことがなぜわからないのか、なぜこんな悪いことをして平気なのか、と、まともな者には理解できない言動をする子供が増えてしまい、またそのまま成人して人の親になっていって善悪の基準も確立出来ていない大人がたくさん出てきている。こういう大人に限って知識で頭でっかちになっているから「今の世では何が善で何が悪か、常識とはなにか、を定義づけることはナンセンス」などと言い、いじめられやすい子には「ヴァルネラビリティ (vulnerability) =攻撃誘発性」が内在していることが多く、いじめられる側にも問題がある、などという理屈が出てくる。私がいう善悪の基準というのはもっと根源的、基本的な善悪に関することであり、「什のおきて」にもあるように、「弱いものをいじめるという行為そのもの」は絶対してはならない、ならぬことはならぬ、のである。「愛の鞭」「指導の一環」といって立場の弱いものを怪我させるほど殴ることなど、絶対してはならない。これもならぬことはならぬ、のである。

年長者が人としての有るべき道をしっかり次代のものに伝えていくことが今は出来ていないと思われる。人が生きていくうえで一番大切なものはなにか、と言われて的確に答えられる大人がどれほどいるだろうか。文明が進み、科学が発達したことは良かったにしても、人間はそこから際限なく便利な生活ばかりを追い、とどまるべきところを知らない。原発問題についても大局的に考えれば大きな負のデメリットが明白であるのに、目先の小さなメリットにとらわれて右往左往している。機器はものすごい勢いでその機能を高め、ネット社会では本も音楽もネットで簡単に自分のものになる。大きな空間を必要とする書籍やCD、DVDは目に見えないネットに吸収されて身の周りの品物がどんどん減って行くのが恐ろしい。

だが機器がどんどんその機能の質を高めている間に「人間の質が落ちている」のだ。生活の便利さに眼がくらんで何が「ならぬこと」なのかが見えなくなっている。人としてのあるべき道を見極めて「ならぬことはならぬ」と一喝出来る人間でなければならない。



謝 辞

岸裏 廣澄 副会長

北中様、加藤様、本日は寒中そして遠路御来席賜り貴重な勉強を賜り誠に有難く感謝申し上げます。加藤先生のお話にある「ならぬことはならぬものです！」のお話に特に印象深いものがありました。ドラマ「八重の桜」を今後更に興味深く見て参ります。有難う御座いました。